



中部電力浜岡原子力発電所全景

11月
定例会

中部電力浜岡原子力発電所に関する決議を可決

市議会は、11月定例会を、11月29日から12月21日までの23日間の会期で開催しました。

今定例会では、平成23年度一般会計補正予算をはじめ、袋井市暴力団排除条例の制定や公共施設の指定管理者の指定など15議案と2件の報告、議員から提出された1議案「中部電力浜岡原子力発電所に関する決議」が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

なお、市政に対する一般質問では、13人の議員が市長の見解をただしました。

◎議決した主な議案

平成23年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、主に次に掲げる事業のために、3900万円を増額するものです。これにより、平成23年度予算総額は、304億3400万円となりました。

●職員給与・手当等……………2億5511万円

人事異動及び人事院勧告、災害対応などに伴う給料や退職手当を含む職員手当の増減により補正するものです。

●介護給付費・訓練等給付費……………9110万円

障害者自立支援施設の利用者数の増加に伴い、給付費等の扶助費を増額するものです。

●農業施設災害対策事業……………2100万円

台風15号による農業施設被害への対応として、施設復旧費補助や災害対策資金利子補給及びビニールの処分費助成を行うために増額するものです。

●学校給食施設整備費……………1500万円

新学校給食センター用地造成に係る山林伐採工事に着手するために増額するものです。

条例（主なもの）

《制定》

●袋井市暴力団排除条例の制定について……………※

暴力団の排除に関する基本理念を定め、市及び市民、事業者が相互に連携しながら暴力団の排除を推進することにより、安全で平穏な市民生活を確保し、社会経済活動の健全な発展を目指すことを目的として、本条例を制定するものです。